



日本聖公会
大阪教区教務局
〒545-0053
大阪市阿倍野区
松崎町2-1-8
TEL 06-6621-2179
FAX 06-6621-3097
発行責任者
教務局長 司祭 原田光雄

〈HP〉 <http://www.nskk.org/osaka/index.htm> 〈e-mail〉 office.osaka@nsk.org

第443号 2015年6月28日発行

私は4月18日、主教座聖堂・川口基督教会において、神のお赦しと沢山の方々の祈りの内に、主教に按手され、大阪教区主教に就任しました。この日に至るまでの皆様のお祈りとお支えに、感謝いたします。しかしこれは始まりであり、今後のともお祈りと協働をよろしくお願いいたします。



主教 アンデレ 磯 晴久

神の手と聖霊の働き

そうするとだんだん手の重みが増していきました。右耳の横あたりに、まだその時の重みが残っています。1人特に重たい手がありました。ぐーっと地面に押し付けられるような。誰の手やと、不遜なことを思いましたが、神の手だと感じました。「もつと身を低くして、謙遜に、自分の力に頼るのではなく、私にすべ

私の親友の磯晴久ではなく、多くの主教から手を置かれキリストから繋がる使徒職を継承した新主教でした」
どきっとさせられました。イエス・キリストから途切れることなく続いてきた使徒職の流れに、この私に加えられた。本当にいいのだろうか、ふさわしい者でないことは、自分が一番よく知っています。

さて按手の時に体験したことや感じたことを、皆様と分かち合いたいと存じます。

式では、日本聖公会現役10人の主教、大韓聖公会の3人の主教、台湾聖公会主教、大西修主教、宇野徹主教が手を置いて下さいました。カトリックの前田万葉大司教もおられました。植松首座主教の大きな温かい手をまず感じ、全体に熱いものを感じました。

てを委ねて歩みなさい」と言われているようでした。

按手式と祝会が終わわり、主教館に戻り一息ついたときに、パソコンを開けメールを覗きますと、親友の1人から次のようなメールが届いていました。「…陪餐の折、祭壇に向かっって正面に進みました。目が合ったように思い、小さく頷いて下さったように感じました。正面におられたのは、

そのことへの心の震え・恐れと同時に、聖霊の熱き働きを体全体で感じました。

よく考えてみますと、堅信式も信徒按手式と言われ、主教の手が頭に置かれますし、司祭按手では主教と司祭団の手が置かれます。主教や司祭団の手を用いて、神が手を置いて下さいます。私たちは「頭に手を置く」と言う目に見えるしるしをもって、イ

エス・キリストから始まる使徒職、すなわちイエス・キリストに始まる大きな信仰のいのちの流れに繋がるのです。ふさわしい者ではないにもかかわらず、赦され、選び出され、神の手が置かれて主イエスの群れに加えて頂くのです。そして、私たち一人ひとりの上に聖霊・神の力が注がれます。ニケヤ信経の中で、「主なる聖霊を信じます」と祈ります。それは、私たち自身における聖霊の豊かな働きかけを信じる、言い換えると、あなた自身における神のみわざを信じることです。

師であるイエスと共に死のうではないかと語ったペトロは、しかし十字架の恐怖の中で、イエスのことを3度も知らないと呼び、十字架の前から逃亡してしまいます。師を裏切り落ち込んでポロポロになったペトロが聖霊を受けて立ち上がり、力強く語る人になっっていきます（使徒言行録2章）。こうしたことが私たちにも起こると信じ、希望をもって歩んでいきましょう。（いそ はるひさ・教区主教）

アンデレ 磯 晴久師 大阪教区第8代主教に

按手式・教区主教就任式を580人が祝う

4月18日(土)午前10時、
 主教座聖堂・川口基督教会に
 おいて主教按手式が行われ、
 昨年9月15日の大阪教区第1
 12(臨時)教区会で選出さ
 れた被選者アンデレ磯晴久師

が、大阪教区第8代主教に着
 座就任した。好天に恵まれ、
 参列者は580人に上り、礼
 拝堂に加え、会館2階、3階
 でのモニター映像を通して按
 手を見守った。



参列した主教全員で記念撮影



植松主教から牧杖を受ける新主教

司式は植松
 誠首座主教。
 聖職団として、
 新主教着座ま
 で当教区管理
 主教の任に当

たられた高地敬京都教区主教
 を含む各教区主教、前任主教
 の大西修主教、前々任の宇野
 徹主教ら退職主教が参列。海
 外からの来賓として、大韓聖
 公会の金根祥ソウル教区主
 教、朴東信釜山教区主教、兪
 樂濬大田教区主教、柳時京教
 務院長、またアメリカ聖公会
 第8管区台湾教区の頼榮信主
 教が出席。台湾からは信徒ら
 約20人も参列した。国内から

は、神学校、修道会、当教区
 に関係する諸学校、施設、団
 体の代表。また、プロセッシ
 ョンにも加わられた前田万葉
 カトリック大阪大司教、大阪
 キリスト教連合会議長の神林
 宏和神父をはじめとする、エ
 キュメニカルな協働関係にあ
 る諸教団の代表者、他宗教か
 らは大宗連(同和問題にとり
 くむ大阪宗教者連絡会議)で
 協働する高野山真言宗や天理
 教の代表者も参列。さらに磯
 新主教の親族やゆかりの人々
 が、感謝と喜びを共にした。
 説教壇には上原榮正冲縄教
 区主教が立たれ(要旨は次ペ
 ージ)、ニケヤ信経に続いて

武藤謙一九州教
 区主教、大畑喜
 道東京教区主教
 からの推薦があ
 り、「司祭按手
 の証」、「主教当
 選確認書」、「教
 区主教同意書」
 が読み上げられ
 た。磯主教被選
 者の誓約、会衆
 の同意に続き、
 植松主教による
 試問の後、会衆

の祈りがさげられた。主教
 祭服(一部)を身に着けられ
 た磯主教被選者は、臨席主教
 全員から頭に手を置かれ、主
 教として聖別され、正式に「磯
 晴久主教」が誕生した。新主
 教は植松主教から聖書を渡さ
 れ、また大西主教から十字架
 宇野主教から塩を受け取られ
 た。北関東教区広田勝一主教
 による「主教按手の証」の朗
 読の後、コープ、マイターを
 身に着けられ、大阪教区常置
 委員長・山本眞司祭から指輪
 を、植松主教から牧杖を受け
 て主教座に着かれ、感動は最
 高潮に達した。その後、新主
 教司式による聖餐式が行われ、
 植松主教の挨拶、来賓の紹介、
 磯新主教の挨拶があり、約2
 時間にわたる荘厳な式典が感
 動のうちに終了した。

午後1時からは、会館の1
 階から3階を会場に祝会が開
 かれた。司会は聖ルシヤ教会・
 太田幸彦さんと石橋聖トマス
 教会・早川文字さん。爽やか
 な陽ざしの中、中庭にもテー
 ブルが設けられ、リラックス
 した雰囲気の中、新主教の誕
 生を祝い合った。

(編集部)

説教要旨

主教職と羊を飼うこと

主教 ダビデ 上原 榮正



アンデレ磯主教被選者、大阪教区の皆さま、本日はおめでとうございます。思い起こしますのは、大西主教さまが大阪教区主教に按手された際、「次の主教は、大阪から選ばれることを期待する」と仰っておられたことです。本当にその通りになりました。これも神さまのお恵みと、主に感謝申し上げます。本日は、磯主教被選者から依頼され説教をしておりますが、今後の務めに助けになるような話を、という期待には応えられませんが、何故なら、各教区とも、

主教に期待することが違うからです。大事なことは、磯主教は1回の選挙、大阪での選挙で選ばれたということです。さて、大阪の皆さまは主教に何を期待されるでしょうか。信徒・聖職が増える、宣教・伝道が活発になる、献金が増える；などでしたら、それは違います。私は、主教が直接担う職務とは、各教会の牧師者が支障なく牧会・宣教を行えるよう環境を整えることだと思っております。

今年1月末、カンタベリーであった新人主教の研修会に参加させていただきました。多くの国から参加があり、英語の分からない私でも何となく分かるという不思議な研修会でした。ここで学んだことは、主教はまず教区を代表し、教区一致のシンボルとし

て存在すること。また、主教が聖奠の執行者であり、主教とその主教座を通して教区は他教区と管区、世界へとつながっているということです。主教は、神さまと神の民のために存在し、聖なる民を整え、世界に遣わす。人々を祝福し、弱い貧しい人々を励まし祈り、新しい人々を神の民へと養成する。また、教会の規律を教え、教会の使命を宣言し、人々を福音のために世界に遣わす；などです。主教職は一人ではなく、教区の兄弟姉妹全員で行うことを学びました。

学んだ中から務めていることは、一致としての役割です。教会の中には、いろんな考えの持ち主がおり、ぶつかり合いが起きます。でも三位一体のひとりの神さまを信じる者として、違いの中に共通点を見出し、橋渡しをしていくことが、主教の務めだと教えられました。

今日の福音書（ヨハネ21:15-17）は、復活のイエスさまとペテロとの対話です。イエスさまが「わたしを愛しているか」と3度もペテロに質問したのは、裁判の時の事

を思い出させるためでした。イエスさまのために命を捨てますと言いながら、イエスが捕えられると、3度知らないと言いつづけたからです。ペテロはこれを思い出して、悲しくなったのです。そして3度の質問の後に、「主よ、あなたは何かもご存じです。わたしがあなたを愛していることを、あなたはよく知っておられます。」(21:17)と答えています。この言葉には、

「私はあなたを愛しています。でも、あの裁判の席であなたを知らないと言ったように、危険な目に遭うと、私はまた裏切るかもしれません。弱い、貧しい、こんな私があることを愛していることも、あなたがよくご存知です」という意味が込められていたと思います。イエスさまは、そんなペテロの裏切りと罪を赦され、「私の羊を飼いなさい」とお命じになりました。

それは、私たち聖職者全員に言われていることだと思えます。私自身、ペテロのような弱い心しか持ち合わせていません。今はイエスさまのように、羊のために命を投げ出

すことは出来ないと思えます。それでも、出来る限り、イエスさまの後をついて行く、ということとは出来ます。

磯主教被選者は、今、主の示される道を誤りなく導けるかと、不安や恐れの中にあると思えます。でも大丈夫。大阪教区の聖職、信徒の皆さまが、磯主教を支え、助けて下さいます。主教職は一人ではなく、日本聖公会、主教団もまた、共に負っていく職務であるからです。そして、何より神さまがお支えくださいます。イエスさまは、「あなたがたがわたしを選んだのではない。わたしがあなたがたを選んだ。」(ヨハネ15:16)とおっしゃっておられます。私たち聖職者は、召命を受けて立つており、それを信じて歩むしかありません。信徒の皆さまも、そのことを信じ、聖職者と共に神のみ国の実現のために、ご奉仕されているのです。何故なら、聖職になることも主教に選出されたことも、全て主がお選びになったことだからです。

(うえはら えいしょう・沖 繩教区主教)

サムエル 大西 修主教 感謝の集い

夕の礼拝と会館に157人が集い

大西主教ご夫妻に感謝!

司祭 ヨハネ 古澤 秀利

5月31日(日)に「大西修主教 感謝の集い」が川口基督教会で開かれ157人が集まりました。はじめに礼拝堂にて岩城聰司祭司による夕の礼拝が行われました。聖歌31番「日暮れて闇深まり」と51番「み使いのたたえ歌は」そして主教のテーマ・ソングである29番「わが魂の光」が歌われ、「ネパールの地震被災者のため」「東日本大震災、ことに原発災害の被災者のため」「世界の教会のため」「奉



め」

その後、会館の3階に移り、大西修主教と憲子夫人を囲んでの集いが齊藤壹司祭の司会で行われました。鈴木憲二・連合男子会長そして井上恵美子・教区婦人会長からお礼の言葉が述べられ、この3月に大西主教から執事按手を受け

た成岡宏晃執事の呼びかけで、大西主教から按手を受けた若手聖職者がそれぞれ大西主教との思い出と感謝の言葉を贈りました。花束の贈呈には、主教ご夫妻のお孫さん(写真上)や、教区GFS代表・岡墻敬子さんが当たられました(写真下)。磯晴久主教から教区感謝募金の目録が手渡され、最後に女性常置委員からのサプライズ・プレゼントとして、憲子夫人へバレレ公演、主教に阪神・中日戦のチケットが贈られました。他にも磯主教のギター伴奏で聖歌418番が賛美され、信徒さんからお茶が振る舞われるなど盛りだくさんの内容でした。

喜び。在任中に7人の聖職者が誕生したことを感謝し、この若い人たちが教区を盛り上げてくれることを期待している。大阪教区の素晴らしさは、信徒が早く来て礼拝の準備をしていること、また聖書が常備されていてページが記されているので、礼拝中に聖書が開けられる点。このように自分の教区を誇れることは素晴

らしい」と述べられ「普段は言わないのだけれど」と、主教のお働きに理解を示し協力されてきた憲子夫人への感謝を表されました。

大西主教のこれまでのお働きと憲子夫人のお支えに心から感謝申し上げます。

(ふるさわ ひでとし・高槻 聖マリヤ教会牧師)

大西主教を一番に見た!?

リベカ 田中 史

旅行中、主日の陪餐のために名古屋聖マタイ教会へうかがった。自らお昼ご飯のカレーを盛りつけて勧め、帰り際には表まで見送って「大阪教区は主教が決まらなくて大変だねえ。頑張つて」と満面の笑顔で肩を叩いて励ましてくださった司祭さま。それが後のサムエル大西修主教さまだったのです。

見知らぬ土地で、大西主教さまが神さまと大阪教区のために身も砕いて仕えてくださったことに、感謝の気持ちでいっぱいです。おばあちゃまのお気持ちに充分応えることができなかったことを悔いつつ。

(たなか ふみ・川口基督教会信徒)

次にな古屋聖マタイ教会へお邪魔した時には主教被選挙になられていて、礼拝後に「今日は大阪教区の方が、私が主教にふさわしいかどうか偵察

川口基督教会で
クリストファー 木川田 一郎主教逝去記念聖餐式

庵子夫人が、主教の静かな生涯を語られた

大阪教区第4代主教を務められた木川田 一郎主教は、去る3月18日、生まれ故郷の仙台で89年の生涯を閉じられた。葬送式は3月23日に東北教区・仙台基督教会で営まれ、大阪教区では5月30日(土)午前10時半から、川口基督教会で逝去記念の聖餐式が行われた。司式は磯晴久主教、説教は宇野徹主教。庵子夫人、御家族を含め182人が参列し、逝去を悼んだ。



木川田主教は1975年から20年間にわたり教区主教職につかれ、また1986年から4期8年間にわたり、首座主教を務められた。説教壇に立たれた宇野主教は、経歴を紹介しながら、主任司祭として庄内の駅前で路傍伝道なさっていた姿を目撃してびっくりしたことや、地域と子どものための宣教と奉仕にかかわられた思い出に触れられた。また、他教派との交わりを多くもたれ、特に外国人登録法に取り組みキリスト者協議会では、9つの教派をまとめ、反アパルトヘイト指導者ネelson・マンデラ氏の来日の際し、歓迎日本委員会代表を務められたことにも言及。「木川田主教は、宣教の働きを教会の中だけにとどめず、常に神が求める社会、世界の問題への視点に立って行動された。温厚で我慢強い人柄で、謙虚に黙々と神と人に仕える方であつた」と締めくくられた。聖餐式後、挨拶に立たれた庵子夫人は、3月18日の朝、

また様々な身体の不具合が発生した際に、「人間が弱るの

「偲ぶ会」がもたれた。(編集部)

第9回「ペンテコステ・ヴィジル」

大阪カテドラル聖マリア大聖堂で



5月23日(土)午後5時より、大阪カテドラル聖マリア大聖堂小聖堂において「ペンテコステ・ヴィジル」(聖霊降臨日・前夜の礼拝)が行われました。今年で9回目を迎えるこの礼

聖公会の担当で、磯晴久主教が説教台に立たれました。この礼拝では「立つ」「座る」などの所作に戸惑わないように配慮され、立つのは「福音書」朗読の時だけとさ

拝は、カトリック教会、日本基督教団、聖公会、そして途中から日本福音ルーテル教会も加わり、毎年開催教会や役割を交代しながら行っています。もちろんその他の教派も参加出来るエキキュメンカルな礼拝です。今年

参加者は80人、信施金は49,699円で「あしなが育英基金、東日本大震災・津波遺児支援資金」に献げられました。様々な教派の方と共に祈り、また礼拝後の交わりを通して、聖霊降臨日にふさわしく豊かにされたことを感謝します。(たかはし あきこ 礼拝・音楽委員会、川口基督教会 信徒)

と言われた言葉を紹介。「東光学園の子ども達との交わりから始まった大阪での働きが、皆さんのお祈りに支えられたことに感謝しています」と述べられた。引き続き、会館で「偲ぶ会」がもたれた。

静かに息を引き取られた様子

昇天日礼拝・教区婦人会総会

新会長・副会長が任命式に臨み
教区婦人会の新たな歩み始まる

ハンナ 井上恵美子

5月14日(木)、第91回大阪教区婦人会総会が川口基督教会において開催されました。カラリと晴れわたった朝、210人の参加者とともに昇天日礼拝を守りました。説教では磯崎久主教様より「なくした銀貨」のたとえから、転がっていった銀貨は私たち一人ひとりですべてを昇天させたイエスさまが見つけてくださる。その中に私もいるのですと説かれ、そんな私たち

午後からの総会は、宇野喜句子会長による開会祈祷に始まり、年間行事報告、伝道部と福祉部の報告、会計報告がすべて承認されました。議案審議に移り、決算と予算は順調に可決されました。第3号議案が提案され、「ネパール

左・井上恵美子新会長
右・山口博子新副会長

大地震被災者へ特別会計から10万円を緊急支援する」が可決されました。最後に総会当日をもって任期を終えられる宇野会長と岡野美智子副会長、そして代表者の方々へ感謝の拍手が送られました。会場を担当してい

ただいた川口基督教会婦人会のお世話で昼食やお茶のひと時が楽しく、ミニバザーも賑わい、活気のある1日となりました。

この日献げられた信施金200,860円は①生野センター②「原発と放射能に関する特別問題プロジェクト」子ども支援のため、またネパール大地震被災者募金65,831円はユニセフを通し子どもたちのために使われます。

最後になります。次期教区婦人会会長をさせていただき井上です。副会長の山口博子さん(聖愛)と共に総会終了後、磯主教様より任命式を執り行って頂きました。主教様の手からずしんと重たい何かが伝わってきましたが、これより3年間は代表者の方々と婦人会の働きをともに担っていきます。まずは今からの1年、チャプレンの内田望司祭からご指導を頂きながら大切に進めていきたいと思えます。

(いのうえ えみこ・大阪教区婦人会会長、高槻聖マリア教会信徒)

博愛社 創立125周年に感謝

シラス 長野 泰信



1890年(明治23年)1月1日、兵庫県赤穂郡矢野村瓜生(現在の相生市)にて、創立者・小橋勝之助が私財をささげて、同志と共に「博愛社」の創立宣言をしてから、今年で125年を迎えることが出来ました。みなさまの篤

橋カツエさん、阿波松之助さんのお孫さん達や、地域の方々をお迎えして、この節目の時にあたり、過ぎ去った125年を振り返り、これからの「博愛社」について想いを馳せる時を持ちました。125周年記念事業として

は、去る2月7日、京都大学原子炉研究所の小出裕章さんと東日本大震災避難者の会代表の森松明希子さんのお話を聞きました。

9月13日(日)には「法人実践報告会」、11月22日(日)には大阪医科大学の竹田契一さんをお呼びして「発

達障がい児との関わり」と題して講演会を開催します。皆さまどうぞ聖贖主教会へお越しください。

(ながの やすのお・社会福祉法人博愛社理事長、石橋聖トマス教会信徒)

いご支援に心よりお礼申し上げます。4月11日聖贖主教会において司式・奥村貴充司祭、説教・大西修主教のもと、約200人の出席者と共に記念礼拝をささげました。お祝いの会では博愛社をつくり育てて下さった、林歌子さん、小



食前の祈りを皆で唱える

午後の礼拝はメイン・イベントです。各年齢のグループが身体全体を使って祈りをささげました。

みんなを気にしていて、みんなからの電話を待っているよ。どんな事でも話していいんだよ」ということを学びました。神様役のスタッフの導きで、どうしても独りよがりになりがちなの祈りを神様の目線で考えることができました。

4月29日(水・休)午前10時から川口基督教会において、大阪教区子ども礼拝「春キッズ」が開催されました。参加者は子ども38人、大人57人の総勢95人。参加教会は京都教区を含む12教会にわたり、ウイリアムス神学館の神学生も参加されました。

今回のテーマ「祈り」は、「祈るってどういうこと? どうすればいいの?」と考え始めると、簡単さと難しさが入り混じったテーマだと思いました。特に日々、食前の祈りなどで「言わされてる」感タップリの3歳の息子が、何を感じ、祈るのかとドキドキしました。午前は学びの時間でした。スタッフ熱演の劇が心に残りました。「お祈りは神様にお話しすること。神様はいつも

春キッズ報告

「祈り」をテーマに、子どもも大人も感動のひと時

ヒルダ 加藤光子

教会にたくさんの子どもが集まり、お祈りするというだけでも感動的なのですが、とてもよいお祈りが満載でした。ご興味のある方は是非、式文をご覧ください。

帰り道、子ども達に「どうやった?」としつこくたずねました。その時は「えーっと...?」とはっきりとした反応がないことに少しガッカリしました。しかし翌日、自転車の前に座っていた息子が、習ったばかりのさんびを口ずさんでいました。神様はキッズを通して、確実に小さな種をまいてくださったのだと信じています。少子化の中、子どもを教会に連れていくことに対し、時として心がグラグラする私自身をも神様は勇気づけてくださいました。感謝します。

(かとう みつこ・尼崎ステパノ教会信徒)

「信徒の学び」出張講座のご案内

祈りと賛美と共に

～ ゆりかごから天国まで ～

第2回 (2015年)

6月28日(日) 13:30~15:30
大阪城南キリスト教会 (南部)

7月26日(日) 13:30~15:30
石橋聖トマス教会 (北部)

8月23日(日) 13:30~15:30
尼崎聖ステパノ教会 (阪神)

講師：内田 望司祭 (堺聖テモテ教会)
辻 彩乃さん (川口基督教会)

3回とも同じ内容です。お近くの教会、またはご都合のよい日時を選んでご参加ください。礼拝をより豊かにすること間違いなし!の楽しくて分かりやすい講座です。

共催
大阪教区宣教部「礼拝・音楽委員会」と「生涯学習委員会」

大阪教区子ども礼拝
キッズフェスティバル2015

夏キッズ～主の祈り～

わたしたちにも祈りを教えてください。(ルカ11:13)

7月20日(月・祝) 10:00(受付)～15:00
会場：川口基督教会

問い合わせ・参加申し込み：
生涯学習委員会 子どもプロジェクト担当：斎藤みち
電話 06-6854-8657 (石橋聖トマス教会)
FAX 06-6621-3097 (教区事務所)
Eメール kyoukukids@gmail.com

主催：大阪教区 宣教部生涯学習委員会 (委員長 司祭 ジョイ 千松清美)

2015年度「信徒奉事者研修会(前期)」 礼拝の多様化を背景に、基本を学ぶ

シモン 岐邨 正昭

4月26日午後2時から、大阪聖愛教会で信徒奉事者研修会が開催され、主教より認可されている信徒奉事者43人のうち34人が出席した。この研修会では以前、大西修・前主教が提唱され開催された経緯があるが、継続した研修をということで、本年度から「礼拝・音楽委員会」指導の下、前期・後期の2回開催されることになった。この背景には司祭の不足による主日礼拝の形式が、司祭が行う「聖餐式」、執事が行う「み言葉の礼拝と陪餐」、信徒のみで行う「み言葉の礼拝」等、多様化し、その中で信徒奉事者の役割が大きなウェイトを占めて来ているためと思われる。聖堂全体が深い祈りの空間となるように司祭に協力し、礼拝をより美しく豊かにするために、しっかりとした基本を理解して行くことが重要である。

当日は出席者の自己紹介に続き、「第1部」基本について内田司祭よりお話があり①信徒奉事者 (Lay Reader) とは聖公会法憲法規第63条に「教区主教は令聞ある(よい評判の意)成年の現在受聖餐者を信徒奉事者に任命することができ、礼拝において、牧師に協力する」とあると言われ、ローマの信徒への手紙12章6-8節を引用された。②礼拝は絶えず生きたものであり、豊かなものと言われ、サムエル記1章1-20節を引用し、ハンナの祈りについて説明された。この中で内田司祭は、神学校では礼拝の所作については一切習わなかったと言われ、各司祭とも諸先輩たちの所作を見つつ、各自個性のある礼拝を行っており、祈禱書を見ているのではなく、司祭の所作もしっかり見ておくようにとのこと。③礼拝には全身全霊を注ぐようにと言われ、ローマの信徒への手紙

12章1節を引用された。④最後に「祈りの空間」を司祭と共に作ることに

言われ、聖堂に神はおられることを感じさせる宣教的な場・空間を作れるよう協力し行動しなさいと締めくくられた。

参考として桑山隆著の「美しい献げ物」(絶版)を読まれるといいですと言われた。そして現在、信徒奉事者が礼拝の中でどのような役割をしているか確認したところ、詩編を朗読、代禱を朗読、陪餐のチャリスを手伝うなど、各

教会によって様々であることが分かった。

「第2部」はリベカ田中史姉による実践・礼拝での奉仕で、①信徒奉事者の服装②礼拝堂でのマナー③事前の準備④司式者としての所作について話し合いがなされた。基本として、聖堂に入るときには軽く一礼する、両手はぶらぶらさせず合掌で、礼拝堂中央通路はできるだけ避けて歩く、至聖所へは専用の靴(黒が良

い)でシックな服装(柄物あるいはロゴ入りはアルブに映し出されるのでダメ)で、きびきびとした動きで、直角に

歩き、斜め歩きはしない。特禱などの朗読箇所は事前にしっかりと読んでおく。そしてどちらの方向を向いて朗読するのか?代禱の場合は?など、質疑応答を含め少し実践も行われた。課題を書き留め、次回(11月22日)にその成果を確認するということで散会。

私の希望としては、新人が2人来ておられたので、蠟燭のつけ方、陪餐の準備・片付けまでのデモを実践できたら良かったと思った。(きむら まさあき・東豊中聖ミカエル教会信徒奉事者)

教会信徒のための学び

大阪教区 特別出前・出張講座「歴史編」 2015年度参加者募集

主催：大阪教区 宣教部生涯学習委員会・歴史編集委員会
対象：教会や教区の歴史、キリスト教の歴史に関心のある方、キリスト教について学びを深めたいと願っておられる方
科目：「日本キリスト教史・日本聖公会史・大阪教区史」
費用：今回の費用は無料
講師：西口 忠氏 (前桃山学院史料室特別研究員・日本聖公会歴史研究会会長)
開講日程：巡回出前出張講座形式で計3回
第1回：7月11日(土) 午後2時~4時30分
場所：大阪聖ヨハネ教会
テーマ・内容「F.ザビエルから、江戸時代末期まで」
第2回：10月17日(土) 午後2時~4時30分
場所：川口基督教会
テーマ・内容「川口居留地と宣教師たち」
第3回：2月6日(土) 午後2時~4時30分
場所：未定
テーマ・内容「英米ミッションの働き」
申込み：申込書に記入して、郵送またはFAXでお申し込みください。締切は、各回開催の2週間前まで
申込先：千松清美司祭まで。石橋聖トマス教会
〒560-0043 豊中市待兼山町 5-17
電話 06-6854-8657 FAX06-6854-8658
E-mail:st.thomas-ishibashi@s9.dion.ne.jp

準備、「OK」!?

京都／大阪の青年研修・交流会

執事 フランチェスコ 成岡 宏晃

去る、5月8日(金)・9日(土)に、大阪教区石橋聖トマス教会にて、京都教区教育部と大阪教区生涯学習委員会の共同で、リーダー研修会が開催されました。昨年は、教育部と生涯学習委員会に関わる1年間の活動報告と、夏のキャンプのスタッフ募集と養成のための研修会でした。

しかし今年度は、京都・大阪両教区の青年交流を第一目的として、小学生キャンプ、J'sキャンプ、キッズフェスティバル、グループと両教区で行われている青年や子どもたちの活動を分かち合いました。

各プログラムの情報交換にとどまらず、生涯学習委員会と教育部で年間の共通テーマを持ち、共に青年や子どもたちのプログラムを進めていくことを話し合いました。2015年度の夏から始まる各プログラムの共通テーマは「祈り」です。

これからも、教区の違いを喜びのうちに分かち合う宣教の器として、両部会を神さまが豊かに用いてくださいますようにと願います。(なるおか ひろあき・東豊中聖ミカエル教会牧師補)



グループ奉仕 富田林聖アグネス教会でペンキ塗り

フランシスカ 内海 理紗子

5月16日(土)・17日(日)、大阪府富田林市の富田林聖アグネス教会で、グループ(大阪教区青年の集い)にとって初めての本格的なワークが行われました。グループは奉仕活動を通してつながりを広げ、ワークもこの奉仕活動の一環となっています。ワークの参加者は青年10人(うち京都教区2人)、スタッフ8人の計18人です。京都教区の青年にも参加してもらえたことが大きな力となりました。

今回のワークは、教会外壁の塗装を中心に進められました。1日目は、古くなった塗装を削ぎ落とす作業を終えたのち、白色の下地塗りをを行いました。

間を共にすることが出来ました。その日は教会に宿泊させていただき、迎えたワーク2日目は、聖アグネス教会での「みことばの礼拝と陪餐」から始まりました。礼拝後、乾いた下地の上に薄いピンク色のペンキを塗り、ついに礼拝堂に向かって右側面のペンキ塗りが完成しました。

ました。また、夜はテゼの祈りを全員でささげ、穏やかな恵みの時間



最初は、素人の私たちに塗装などの専門的な奉仕が出来たのだろうかと不安でしたが、スタッフの綿密な準備と聖アグネス教会の方々のお心遣いにより、無事にワークを終えることが出来ました。このように奉仕を通して、同年代の仲間たちや協力してくださる多くの方々と交わりを深める機会を持つことに感謝しています。今後もグループとして様々な奉仕活動を行ってきたいです。

(うつみ りさこ・川口基督教会信徒)

広島平和礼拝 2015

2015年 8月5日(水)～ 6日(木)

— テーマ —

ともに学び、行動し、祈ろう。そして一歩前へ。

— 聖句 —

キリストの平和があなたがたの心を支配するようにしなさい
(コロサイの信徒への手紙 3:15)

広島平和礼拝の目的

1. 原爆犠牲者を追悼し、世界平和のために祈る。
2. 次代を担う人たちに原爆の悲惨さ・戦争の愚かさを伝える。
3. 「主の平和」を学び、その実現のために活動する。

申込締切：2015年 7月7日(火)

申込先： 申込用紙にご記入のうえ、
教区事務所にお送りください。



今回、私は初めてJ'sキャンプに参加しましたが、とてもフレンドリーで、すぐ

OK
J'sキャンプ
@ 沖縄
ルシア 一柳 空羽

に友達もできました。最初は名前を覚えるのに必死でしたが、すぐに覚えることができて良かったと思います。1日目はとても緊張していましたが意外とすぐに慣れたことにびっくりしました。1日目は普天間のゴスペルに参加しました。いろんな歌を歌って自分たちの思っていることを表すのにはすごいと思いました。2日目は辺野古で座り込みをしている人たちを見てこんなにも月日が経っているのにはすごいと思いました。私はこの2日間がとても印象に残りました。米軍基地で働いている沖縄の人もいることや、米軍基地があることで働いている人がいると思うと、自分も働かないといけないからすごく複雑な思いになりました。沖縄だけではないけれど長崎や広島などもそうで、やはりテレビや新聞で見るとより現地に行くと深く理解することとは大事なことやと思います。

(いちやなぎ そらは・石橋聖トマス教会信徒)

OK委員会はいま??

大阪教区と京都教区の合併を推進する委員会報告

大阪教区司祭 ヨハネ 古澤 秀利



5月28日に通算9回目の大阪教区京都教区協働合併推進委員会(略称OK委員会)が開かれました。

前回委員会が2月12日ですので、3カ月ぶりの委員会です。前回「OK委員会はいま??」の記事でも触れましたように、

京都教区では京都伝道区と大和伝道区で両教区協働合併に関する説明会が開催されました。そしていくつかの教会からは「合併後の宣教ヴィジョンを示して欲しい」という声をはじめ、

様々なご意見やご提案がOK委員会に寄せられました。これらのご意見・ご提案を受けて、今までOK委員会で話し合われたことやニュースレターで語られたことをOK委員も再度振り返り、そして今後は委員会で話し合われたことの周知を丁寧に行

っていくこととしました。まずは、しばらく休刊していたニュースレター発行の準備を進めてまいります。

さて、アングリカン・コミュニケーション中央協議会(ACC)という会議があります。1984年にナイジェリアで第6回の会議が開かれ、「宣教の4指標」を決議しました。それは、①神の国の福音を宣言すること ②新たな信徒を、教え、洗礼を授け、養うこと ③愛の奉仕によって人間の必要に応えること ④社会の不正義な構造の変革に参与すること の4つの項目で、全聖公会の宣教の共通の基準となるものです。そして1990年、ウェールズで開催された第8回のACCで、⑤被造物の完全さを守り、地上の命を保持し、新たにすため努力すること という第5の指標が加えられました。この5つがアングリカン・コミュニケーションの「宣教の5指標」と言われています。

しかし「宣教の5指標」は私達の教会が宣教を行っていく上で重要な指標ですが、この5つしか宣教を行う視点がない、ということではないようです。私達のそれぞれの教会がそして教

会に集う人々が持つ背景に照らして、この指標を改訂、増補していく必要があるということとです。

2011年の京都、大阪両教区会で検討委員会が設置されて以降、各報告やニュースレターでは合併のメリットとして「現在の教区を越えた協働を柔軟に行うことができ、地域宣教を促進することができます」ことに触れています。この8月には京都教区礼拝部と大阪教区礼拝・音楽委員会の協働で「平和礼拝」が行われます。この礼拝では両教区合同の聖歌隊が編成される予定です。また、今年も京都教区教育部と大阪教区生涯学習委員会の共催の小学生キャンプとJ'sキャンプの準備がそれぞれ進められています。このような働きを通して合併後の宣教の姿を垣間見ることができるとは思いません。

今後も新たな、豊かな宣教の視点が与えられるような道筋を皆さんと一緒に考えていければと思います。

(ふるさわ ひでとし・OK委員会委員、高槻聖マリア教会牧師)

アメリカ聖公会から大阪教区で働かれる

アンデレ 金正 司祭の紹介

5月1日付けでアメリカ聖公会ロスアンジェルス教区から出向し、大阪教区で働かれることになったアンデレ金正司祭についてご紹介します。

金正司祭は54歳。韓国の釜山生まれ。当初韓国の長老派教会で宣教活動に従事。1999年に米国籍を取得。聖公会に転会し、2003年からフロリダで聖公会の教育を受け、2004年に東南フロリダ教区で執事、翌年司祭。2008年にロスアンジェルス教区に移り、最近までセントセルムス教会でアジア人の伝道牧会に従事。

2014年春に来阪して、大阪教区で奉仕したい旨の希望を表明され、同年11月の大阪教区礼拝時に来阪し、ゲストの教役者として礼拝に参加された。その後、ロスアンジェルス教区主教から推薦状が届き、同教区から当面3年間の出向契約で4月末に来日された。

大阪教区では、1年間は聖ルシヤ教会の副牧師、プールのチャプレン補として勤務される。韓国語はもちろん、英語、日本語に堪能。ギターを片手に学生たちと共に歌うことを楽しみにしておられる。アメリカの多国籍文化の中で、さまざまな文化的背景を持つ人々の共生を追求してこられた。宣教にも熱意を燃やしておられる。配偶者は今のところアメリカでの生活を整理し、来日の準備を進めておられるとのこと。



(文責・教区常置委員・司祭ペテロ岩城聡)

世界の窓

◎死と葬儀を考える「グレイブ・トーク」を英国教会が開始

「グレイブ・トーク」とは、教会がカフェ形式のリラクセスした空間を提供して、人々に死や葬儀や喪失について話し合ってもらおうという試みである。これは「死についての啓発週間」に「ダイニング・マトース・コアリション(DMC)」という団体によって開催される。この団体は英国教会員を含む3万人以上の人々で構成されている。「グレイブ・トーク」は人生、死、社会、葬儀、悲しみなどの52の質問表を使用しながら話し合いが進められ、100以上の教区の教会で行われる。質問表の中心には「あなたが人生で遺したいものは?」「あなたの葬儀で歌って欲しい愛唱歌は?」などがあるという。国際市場調査機関「ミンテル」の発表によると、自分の葬儀内容を考えている人は16%未満で、「グレイブ・トーク」によって61%以上の人が自分の葬儀をど

のようにしたいか考えることは重要だと感じたという。主教座聖堂司祭サンドラ・ミラー博士は「週に約3,300の葬儀を教会や葬儀場などで、英国教会の牧師が行っていて、英国教会は英国で最大の葬儀執行機関なのだ。それゆえに、我々は生と死の問題を考える人々にとって、貴重な情報源であり支援者である。教会は死について話し、また聞くという重要な役割を担っているのだ」と語っている。またDMCのメンバーは「死について話し合うこと自体がまだまだタブー視されており、非常に消極的で率直に話をする人は少ない。しかし、英国で葬儀に参列するなど何らかの形で死にかかわっている人は、週に約20万人もいる。死を無視せず自分の現実として見て欲しい」と述べている。

屋が倒壊し8,600人以上の死者を数えた。5月12日には再度、M7.3の地震があり死者の数や家屋の倒壊がさらに増加した。現在もM5.6や6.3などの大きな余震が頻発しており、予断の許されない状況が続いている。当面の優先課題は6月頃から始まる雨季で、それに備えて防水シート、テント、毛布が配布されている。ネパールで活動を続けるルイス・ルー首席司祭は「2度目の地震は復興に専念していたネパールの人々を絶望に陥れた。地震の規模は最初のものよりは小さかったが精神的なダメージは大変なものだった。建物も道も、そして弱かった経済もより弱くなった」と述べている。また彼は「ネパールの75地区のうち39地区が壊滅状態で復興作業はマンモス(巨大)だ。現在、早急に進めているのは食糧支援と避難所の供給で、雨季の終わる9月中頃まで続ける。その後、聖公会が50%を占めるゲディン地区で復興作業を行う予定だが18カ月から3年かかるだろう」と語っている。現在

(Anglican Communion News Service: May 19th, 2015)

◎「ネパールの復興作業はマンモス」と首席司祭は語る
4月25日にM7.8の地震がネパールを襲い、約75万棟の家

(次頁4段につづく)



日本聖公会新任教役者人権研修会

差別の実際を知っていく中で

聖職候補生 ペテロ 金山 将司

去る5月18日(月)から20日(水)、大阪城南キリスト教会で開かれた、今年度神学校を卒業した教役者のための新任人権研修を受けてまいりました。

この研修では同和問題、在

日朝鮮人問題、ヘイトスピーチについて、そして「従軍慰安婦問題」などを取り上げて、聖公会生野センターの呉^{ひづる}光^{あきら}現^{ひま} 総^{ひま}主^{あきら}事^{ひま}と九州教区主教の武藤謙一主教様からお話をいただきました。

今回の研修の中で特に考えさせられたことは、「中川差別発言」における、聖公会が過去に犯した同和に対する過ちを武藤主教様から聞かされて、同和問題に対し、今後私達はどのような態度で向き合っていかなければならないのだろうか、ということであり、友として手を取るのか、それとも中川さんの発言のように「娘をやれない」ものとして無言のうちに取り扱うのか。

この差別発言を問うていく中で日本聖公会のキリストを生きる精神が問われるのではないかと私は思いました。

また在日朝鮮人問題、そして「従軍慰安婦問題」に関して、特に心に残ったのが、呉総主事が見せてくださったヘイトスピーチの様子を写した映像でありました。そこに写されていたのは、在日特権を許さない市民の会(通称「在特会」)の人たちが、「お散歩」と称して口にするのも不愉快な言葉で、コリアタウンを歩いている人や、そこに暮らす在日朝鮮人を口汚く罵っている光景でした。

この映像を見たあと、呉総主事はこのヘイトスピーチの現場に実際にいた時の経験を話してください、このような現場では気分が悪くなり、吐いてしまうほどに精神がぼろぼろになる、とこぼしていたのがとても印象強く残っています。

キリストを生きるものとして、これらの差別にどのような向き合っていくのか。課題の大きさに戦^{あつ}きつ、継続してこの課題に取り組んでいきたいと思えます。

(かなやま まさし・芦屋聖マルコ教会 勤務)

(前頁よりつづく)
懸念されているのは人身売買で、NPOのガーディアンレポートによると貧しい農村をターゲットにして、1万5千人の少年少女がすでに売買されているという。ルー司祭は「少なくとも95万人のネパールの子供たちが、テントや路上での生活を余儀なくされている現状を踏まえて早急な対応をしなければ、子供たちが格好の餌食にされてしまう」と危惧している。

(Anglican Communion News Service: May 27th, 2015)

司祭 ヤコブ 松平 功 (まつだいら いさお・桃山学院大学チャプレン)

感謝とご報告

教会・信徒・施設の皆様

主のみ名を賛美します。

さて、サムエル大西修主教のご退職に際しまして、教区として感謝金の募金をお願いいたしましたところ、教区内22教会・2団体・4個人より目標としていた300万円を大きく上回る3,641,514円の篤いお心をいただくことができました。5月30日の「感謝の集い」の礼拝信施122,058円と合わせた額から、経費63,572円(サプライズプレゼント代を含む)を控除して、370万円を感謝金として大西修主教様にお渡しすることができました。

感謝をもってここに報告申し上げます。

大阪教区常置委員会

教区の動き

常置委員会報告

4月6日(第7回定例)

臨席：管理主教・高地 敬

I. 協議事項

*司祭アンデレ金正キムジョンの受け入れについて協議。

*木川田主教葬送式報告及び大阪教区としてレクイエムの予定(5月30日)について。

4月30日(第8回臨時)

以降臨席：主教・磯 晴久

I. 協議事項

*聖ガブリエル教会納骨堂問題について。

*司祭ウオーレン・ウイルソンの受け入れについて。

*司祭ジョージ林正樹の療養休養及び大阪聖パウロ教会の管理について。

5月4日(第9回定例)

I. 主教報告

*2015年度主教教会巡回予定が提示され承認。

II. 協議事項

*大西修主教感謝の集い(5月31日)について。

*司祭ウオーレン・ウイルソン(6月来阪)の受け入れについて承認。

*教区礼拝(10月4日)について。

公 示

救主降生2015年5月1日
日本聖公会大阪教区主教
主教 アンデレ 磯 晴久

以下の人事を発令します。

司祭 アンデレ キム ジョン 金正

米国聖公会ロスアンジェルス教区からの出向を受け、聖ルシヤ教会にて、司祭ペテロ竹林徑一のもと、副牧師として勤務することを命ずる。

プール学院にて、チャプレン補として勤務することを命ずる。ただし、勤務日は週3日で月・水・金曜日とする(大学・短期大学に2日、中学・高校に1日)。

司祭 ジョージ 林 正樹

病気療養のため、5月1日から7月31日の3か月間、職務を離れ休養することを命ずる。

司祭 クリストファー 奥村 貴充

大阪聖パウロ教会牧師 司祭ジョージ林正樹の休養期間中、同教会管理牧師に任命する。

京都教区・大阪教区合同
第66回 小学生キャンプ 2015

「バック・トゥ・ザ・きたこまつ」

「大切なのは、植える者でも水を注ぐ者でもなく、
成長させてくださる神です」
(コリントの信徒への手紙1 3章7節)

小学3年生から6年生が対象のキャンプです。

日 時：2015年 8月3日(月)～5日(水)

場 所：京都復活教会 北小松信徒研修所
(琵琶湖、大津市北小松鶴川)

参加費：1万円

お問い合わせ：072-683-0200

または jfhide@gmail.com

古澤秀利 司祭 (生涯学習委員会、高槻聖マリア教会)

主催：日本聖公会京都教区宣教局教育部小学生部門

共催：日本聖公会大阪教区宣教部生涯学習委員会

2015夏 J's キャンプ

テーマ：True Face

【主題聖句】

神に向かってわたしは声を上げて 助けを求めて叫びます
(詩編 77:2)

日程：2015年 8月10日(月)～13日(木)

場所：サン大淀キャンプ場 (三重県明和町)

参加費：15,000円 (宿泊費・食費・保険料など)

お問い合わせ：

成岡 宏晃 執事

(生涯学習委員会・東豊中聖ミカエル教会)

06-6854-1333 / chiihirojp@gmail.com

主催：日本聖公会 京都教区 宣教局教育部 J's 部門

共催：日本聖公会 大阪教区 宣教部生涯学習委員会

教区関係教役者

逝去者記念聖餐式

◇ 7月15日 (水) 午前10時30分

於 主教座聖堂 (川口基督教会)

- 説教者 主教 ヤコブ 宇野 徹
 司 祭 ウォルター・J・エドモンズ (1889.7.1 英)
 伝道師 野村 志津 (1997.7.1)
 宣教師 エリザベス・メータ・ソフィー・ヒューボルト (1934.7.5 英)
 伝道師 フィベ 山上 操 (2014.7.9)
 主 教 パウロ 久保淵 豊彦 (2006.7.12)
 主 教 アーサー・ウイリアム・プール (1885.7.14 英)
 宣教師 オクタビア・ジュリアス (1942.7.15 英)
 宣教師 エミリー・サンドル・フォックス (1942.7.20 英)
 司 祭 ヨハネ 木川田 正毅 (1990.7.20)
 司 祭 堀江 議作 (1928.7.21)
 執 事 永田 保治郎 (1941.7.21)
 伝道師 中村 貞子 (1953.7.23)
 宣教師 エセル・アグネス・カーライル (1957.7.23 英)
 司 祭 西田 弥吉 (1945.7.24)
 宣教師 ジェーン・アン・スタベリー (1963.7.24 英)
 司 祭 サムエル 堀江 光児 (1990.7.25)
 主 教 マルコ 小池 俊男 (2011.7.28)
 宣教師 ロレッタ・レオナルド・ショウ (1940.7.29 カナダ)

◇ 8月12日 (水) 午前10時30分

於 主教座聖堂 (川口基督教会)

- 説教者 司祭 ヤコブ 松平 功
 主 教 エドワード・ビカステス (1897.8.5 英)
 主 教 ヘンリー・セントジョージ・タッカー (1959.8.8 米)
 宣教師 アグネス・S・ウイリアムス (1970.8.9 英)
 司 祭 ヨハネ 桜井 猶次郎 (1945.8.10)
 主 教 ペテロ 藤本 寿作 (1969.8.10)
 宣教師 シルビア・ルイス・ケンドール・ブッシュ (1966.8.11 英)
 司 祭 関 翔 (1953.8.18)
 宣教師 キャサリン・アリス・サルヴァイン・トリストラム (1948.8.24 英)
 伝道師 ルツ 中村 光尾 (1978.8.30)

*教役者逝去記念聖餐式は、毎月第2水曜日午前10時30分から、主教座聖堂 (川口基督教会) で行われます。ご関係の有無にかかわらず、どうぞ自由にご参加ください。

編集後記

今号では新主教の按手・就任をお祝いし、敬愛する前主教、元主教に関する記事も併載いたしました。記念すべき号を無事に発行できますことを感謝します。広報委員長の林正樹司祭が療養中のため、編集員一同力を合わせて紙面作りに取り組みましたが、不備はどうぞ、ご容赦ください。林司祭の一日も早い完全復帰をお祈りください。

(編集部)



祝受洗

○堺聖テモテ教会

ミカエル 長原 輝幸 (5月24日)

○芦屋聖マルコ教会

マリア 依藤 日実 (5月31日)



祝受按

○堺聖テモテ教会

ミカエル 長原 輝幸 (5月24日)

○芦屋聖マルコ教会

マリア 依藤 日実 (5月31日)

魂の平安を

祈ります

(5月31日)

○大阪聖パウロ教会

ヨセフ 植田 仁巳 (4月27日・95歳)

○西宮聖ペテロ教会

フレデリック 井上 省三 (5月3日・80歳)

○大阪聖アンデレ教会

マルタ 棚橋 増子 (2月26日・92歳)

○堺聖テモテ教会

ルツ 川崎千代子 (4月19日・92歳)

○聖贖主教会

マグダラのマリヤ 岸田 栄子 (4月21日・90歳)

○大阪聖三一教会

ハンナ 勝見英美子 (5月15日・86歳)

○川口基督教会

トマス 勝見 昌彦 (5月18日・38歳)

平和礼拝 聖餐式

~平和を歌う、平和を祈る~

日時: 8月15日(土) 14時

場所: 奈良基督教会

(tel 0742-22-3818 奈良市登大路町 45)

司式 司祭 内田 望 (大阪教区 堺聖テモテ教会)

説教 司祭 井田 泉 (京都教区 奈良基督教会)

お問い合わせ/執事 セシリア 大岡左代子
echi.cecilia@gmail.com
090-1582-8329

共催 大阪教区宣教師部 礼拝・音楽委員会
京都教区宣教師局 礼拝部